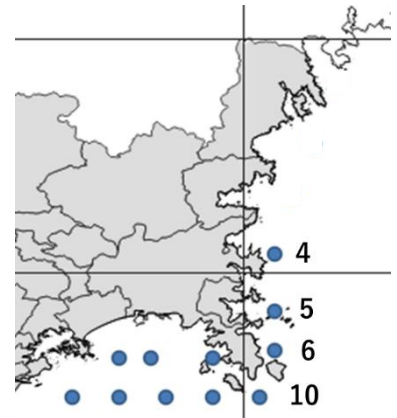


令和4年度 牡鹿半島周辺・以北_貝毒原因プランクトン出現状況 (NO.1)

令和4年4月12日
水産技術総合センター

- 1 調査月日 令和4年4月12日
- 2 調査地点 右図の4定点(St. 4, 5, 6及び10)
- 3 概要 (詳細は下表のとおり)
 - 1) 水温: 表層で8.5~10.8℃の範囲にありました。



- 2) 貝毒原因プランクトン出現数
 - ・麻痺性貝毒原因プランクトン (*Alexandrium* spp.) が St. 5 で10細胞/L, St. 10 で120細胞/L 確認されました。
 - ・下痢性貝毒原因プランクトン, *Dinophysis fortii* が St. 5 及び6で10細胞/L, *D. acuminata* が St. 4 で10細胞/L, St. 5 で30細胞/L 確認されました。

調査地点図

調査結果表(4定点)

St.	日時 水深 (m)	透明度 (m)	表面水温 (°C)	貝毒プランクトン出現数 (細胞/L)							
				<i>Alexandrium</i> spp.		<i>D. fortii</i>		<i>D. acuminata</i>		他 <i>Dinophysis</i> 属	
				4月12日	3月2日	4月12日	3月2日	4月12日	3月2日	4月12日	備考
4	10:53 (86)	7.0	9.4	0	0	0	0	10	0	0	
5	10:10 (31)	9.0	9.9	10	0	10	0	30	0	0	
6	9:31 (66)	8.0	8.5	0	0	10	0	0	0	0	
10	8:42 (84)	5.0	10.8	120	110	0	0	0	0	0	

※貝毒プランクトンサンプルは0~20m層における柱状採水